

令和8年7月15日

市政記者クラブ 様

健康福祉局健康部感染症対策課

担当：楫屋、山本

電話：972-2631

中東呼吸器症候群（MERS）実地訓練の実施について

1 趣 旨

アジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催に伴い、海外から多くの選手や大会関係者、報道関係者等の来日が見込まれることから、中東呼吸器症候群（MERS）の発生を想定した実地訓練を実施します。

本訓練では、「独立行政法人労働者健康安全機構 中部労災病院（以下、「中部ろうさい病院」といいます）」および感染症指定医療機関である「名古屋市立大学医学部附属東部医療センター（以下、「東部医療センター」といいます）」並びに保健センター等の関係機関が連携し疑い患者の把握から検査、入院調整、患者移送までの一連の対応について確認します。また、外国人患者への多言語対応や関係機関間の情報伝達体制についても検証し、大会期間中における感染症危機管理体制のさらなる強化と実効性の向上を図ります。

2 日 時

令和8年7月23日（木）午後1時30分～午後4時30分（予定）

3 公開内容

（1）中部ろうさい病院

- ・車椅子対応アイソレーターを使用した患者の移送

（2）東部医療センター

- ・車椅子対応アイソレーターを使用した患者の受入

4 訓練想定

アジア競技大会・アジアパラ競技大会の取材のために来日したX国籍で30代の記者。英語は日常会話可だが、日本語は全く話せない。9月26日（土）午後に発熱、咳が出現し、9月28日（月）に症状が悪化したため、中部ろうさい病院を受診、検査をしたところ、肺炎と診断された

なお、男性は、MERS 確定患者または疑い患者との接触歴はないが、母国でヒトコブラクダとの濃厚接触歴があった。

5 訓練内容

（1）MERS 患者に対する聞取調査及び関係機関との調整

- (2) 市保健所・保健センターによる患者の受入調整
- (3) 中部ろうさい病院での診察と検体採取
- (4) 検体搬送
- (5) 車椅子対応アイソレーターを使用した患者の移送
中部ろうさい病院→東部医療センター（取材可能）
- (6) 入院勧告

6 昨年度訓練風景の一例

